

餘慶寺境内紹介

餘慶寺梵鐘

明るい朝の学びやに 上寺山の かねがなる

これは上寺山のふもとにある瀬戸内市立今城小学校の校歌に出てくる一節です。また、今でも夕暮れ時にはその鐘の音が響くため、「上寺の晩鐘」としても地元で親しまれています。

この上寺の梵鐘は地蔵堂の南にある鐘楼の中にあり、銘文によると元亀二年（一五七一年）に明人二名が戦国大名大友氏の本拠地である「豊後国大分郡府中」（大分県大分市）の「惣道場」に寄進したものであります。

この梵鐘は地の間の下にひと間もうけるという特徴があり、このような特徴や先ほどの銘文より、作者は現在の大分県豊後高田市を本貫とした高田鋳物師という鋳物師集団と考えられます。

寺伝では豊臣秀吉による九州討伐に従軍した宇喜多氏が戦利品として持ち帰り、餘慶寺に寄進されたとされておられ、岡山県指定の重要文化財に指定されています。

大晦日の夜には除夜の鐘つきでお参りの方もこの鐘をつくことができます。どうぞ、今年一年の締め括りに、また良い新年を餘慶寺でお迎えください。

※「惣道場」：二向宗の門徒が集まる場所を指し、地域の門徒が集団で経営する道場



毎月第二日曜日午後二時より釈迦堂にて納骨堂説明会を行っています。

よけいじ寺子屋だより 会場：餘慶寺会館（十四時）

寺子屋写真館



今後の予定

☆「座禅止観体験」 十二月二十日（土）
講師 定光院住職 西野祐聖 師

☆「逆説の観音経」 一月二十五日（日）
講師 恵亮院住職 土井内祐真 師

☆「涅槃に想う」 二月八日（日）
講師 圓乗院住職 西野祐誠 師

詳しい日程は餘慶寺HPをご確認ください。

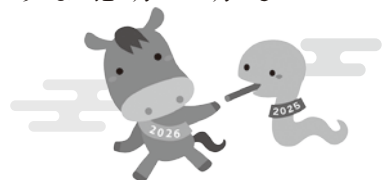
※どなたでも聴講可能です。（無料）
お誘い合わせのうえ、ご参加ください。



編集後記

二〇二五年も残すところ一ヶ月をすぎました。

一月のお正月の頃に、今年の抱負を考えていたが、目の前の一日一日を精一杯過ごすことにいっぱいいっぱい気が付けば十二月になっていました。残りの日々だけでも何か大きな抱負をもつて過ごそうと思いましたが、ふと、日々精進という言葉が思い浮かびました。一日一日自分ができることを精一杯行うことを大事にこれから頑張っていきます。 合掌



餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺
〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187
納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187
恵亮院 TEL/FAX 086-942-3788
本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823
吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789
定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490
明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069
圓乗院 TEL 086-942-2356
ホームページアドレス <https://yokeiji.or.jp/>

ひとくち法話

「漢字と感の難しさ」

私たちが普段使う「漢字」は中国の漢という王朝の文字を起源としているため漢の文字と書いて「漢字」です。漢字を組み合わせた言葉や名称等はその一文字一文字でそれを意味し、表現しています。

昔、中国のとある知り合いの方とお話をしていると中国と日本、同じ漢字を使っている意味が違うものがあることを知りました。

例えば「勉強」という言葉は、日本では学習するという意味で使われますが、中国では勉めを強いる、無理強いという意味で、私も勉強が苦手なので、確かにその通りだと思いました。

中国で学習するという意味の言葉は「読書」らしいです。また、物の名称だと「手紙」は日本では紙に思いを綴って送るものですが、中国ではトイレトペーパーを「手紙」といいます。

これも紙を手にもって拭くという意味ではその通りだと思いましたが、どうやら最近では誤解を招くとの事で「衛生紙」とも言うらしいです。他にも「結束」、「鮎」、「怪我」等たくさんさんの言葉の意味が日本と中国では違っています。同じ漢字を使っている意味が違う、これは漢字だけではなく「感じ」もそうです、その人その人によって捉え方や感じ方は違います。

良かれと思ったことがあらぬ方向にいつてしまったり、何気ない言葉が人を傷つけてしまったらしまう場合もあると思います。

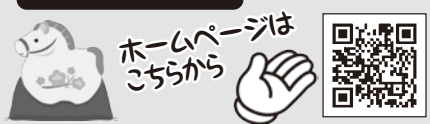
その中でもそれぞれの漢字や感の尊重して毎日過ごしていけるように精進していきましょう。



題字 第241世天台座主 玄深師(恵亮院蔵)

餘慶寺の鐘を撞き、除夜の鐘を奏でましょう。

年末年始の行事についての最新情報は餘慶寺HPをご覧ください



餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日（於 薬師堂）

毎月8日 午前10時～
護摩祈禱をしています。ご祈禱のお申し込みは随時納経所へお願いします。

観音縁日（於 本堂）

毎月18日 午前8時～
みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、お気軽にお参りください。



古いお札、だるま、お守りをお焚き上げいたします。年末になりましたら本堂へお持ちください

令和 8 年 厄年一覽表

男 性			女 性		
前 厄	本 厄	後 厄	前 厄	本 厄	後 厄
24歳 平成15年生	25歳 平成14年生	26歳 平成13年生	18歳 平成21年生	19歳 平成20年生	20歳 平成19年生
41歳 昭和61年生	42歳 昭和60年生	43歳 昭和59年生	32歳 平成7年生	33歳 平成6年生	34歳 平成5年生
60歳 昭和42年生	61歳 昭和41年生	62歳 昭和40年生	36歳 平成3年生	37歳 平成2年生	38歳 昭和64年・平成元年生
歳は男女とも数え歳です。厄除けのご祈祷をお申し込みください。			60歳 昭和42年生	61歳 昭和41年生	62歳 昭和40年生

八方ふさがり	ことを起こしてもうまくいかない年回りです。むやみに動かず、しっかりと観察することが大切です。
表鬼門	何事にも変化・変動が多く、運氣も衰えがちになります。けがや病気にも注意が必要です。
困難宮	最も運氣が停滞する年です。何事にも謙虚な気持ちで、次の飛躍への準備の年となります。
裏鬼門	前年までの衰退の運氣が徐々に好転しはじめます。しかし油断は禁物。年の前半は要注意な年です。



第二十五回上寺山両詣り

ライトアップ

豊原北島神社と餘慶寺が隣接する上寺山では、行く年と来る年に願いを込めて、神と仏にお詣りができ、両方のおかげをいただけることから「両詣り」と名付けていろいろな行事を実施しています。

餘慶寺では古いお札のお焚き上げ、除夜の鐘撞き、八角堂での楊濯頂（お清明）、薬師堂での護摩祈禱などがつとめられます。特に新年が厄年に当たる方や、本命星が厄運の方は、護摩祈禱での厄除けや方位除けをおすすめいたします。

年末年始、上寺山へ是非ともお詣りください。

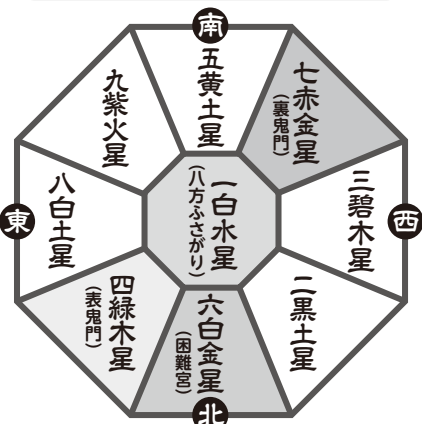
令和八年方位除け一覽表

中央(八方ふさがり)	北東(表鬼門)	北(困難宮)	南西(裏鬼門)
一白水星	四緑木星	六白金星	七赤金星
昭和11年生	昭和8年生	昭和6年生	昭和5年生
昭和20年生	昭和17年生	昭和15年生	昭和14年生
昭和29年生	昭和26年生	昭和24年生	昭和23年生
昭和38年生	昭和35年生	昭和33年生	昭和32年生
昭和47年生	昭和44年生	昭和42年生	昭和41年生
昭和56年生	昭和53年生	昭和51年生	昭和50年生
平成2年生	昭和62年生	昭和60年生	昭和59年生
平成11年生	平成8年生	平成6年生	平成5年生
平成20年生	平成17年生	平成15年生	平成14年生
平成29年生	平成26年生	平成24年生	平成23年生
令和8年生	令和5年生	令和3年生	令和2年生

方位除け

※一年の平穩無事・運氣上昇を祈ります

令和8年 本命星方位図(方位除け)



「方位除け」は人が生まれながらに持っている本命星が、その年にどの方向に位置しているかで一年の吉凶を占うものです。右の表は「年回り」により、特に注意しなければならない年齢をまとめたものです。新年の「年回り」が良くない方には「方位除け」のご祈祷をおすすめします。



▲『パフォーマンスアート』
秋晴の中、餘慶寺の観音様を描いてもらいました！



▲ワークショップの様子
『鍊真書道会様による書道のワークショップ』

特別講演会では、お寺巡り画家の尾中康宏師と餘慶寺住職による『あなたが絵描きになった理由』というテーマで対談が行われ、沢山の方にご参加いただき、また対談後に境内にてパフォーマンスアートが行われました。末筆になりますが、開催にご尽力いただきました方々に改めて御礼申し上げます。

餘慶寺寺宝展のご報告

秋のほどよい暖かさに包まれた十月十三日、今年で第二十三回の餘慶寺寺宝展が開催されました。

薬師如来坐像をはじめとする多くの寺宝が公開されご加護にあずかろうと多くの参拝客が訪れました。

本堂では寺宝の公開とハンマーダルシマー奏者の稲岡大介氏&れ・むう〜のお二人によるハンマーダルシマーの演奏会が行われ、心地よい音楽を楽しみながら寺宝を知ることができました。また境内では鍊神書道会様による書道のワークショップやよいいマルシェの出店等たくさんの催し物も開催されました。



▲ハンマーダルシマーの演奏
本堂の外からも沢山の方が演奏を聴きに来られました！